

特42

456

訂正
觀世流語外
家集番

正
字

12

正尊

正尊

是之西塔乃武藏坊辨慶

君判官殿ハ銀金殿

ハ付トモ身ハ乃月

ハ合キ

一人宛悉下

奉乃五月



是入^レ 函^ハ。き^ニ 評^ス 上^ニ 因^リ 出^ス
^レ 依^ル。是^レ 入^ル 君^ノ 上^ニ 出^ル 依^ル 上^ニ 依^ル
乃^レ 上^ニ 出^ル 及^テ 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル
と^レ 依^ル。鏡^ノ 会^ノ 殿^ノ 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル
依^ル 同^シ 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル
之^レ 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル
熊^ノ 野^ノ 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル

昨日京^ノ 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル
散^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル
上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル
上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル
上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル
上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル
上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル
上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル 上^ニ 出^ル

度松^{ニテカ}一^{ニテカ}め^{ニテカ}か^{ニテカ}る^{ニテカ}。建^{ニテカ}は^{ニテカ}信^{ニテカ}下^{ニテカ}年^{ニテカ}と
 是^{ニテカ}非^{ニテカ}と^{ニテカ}ら^{ニテカ}ま^{ニテカ}き^{ニテカ}ぬ^{ニテカ}む^{ニテカ}す^{ニテカ}。敷^{ニテカ}子^{ニテカ}。甲^{ニテカ}比^{ニテカ}
 剛^{ニテカ}方^{ニテカ}。上^{ニテカ}青^{ニテカ}。古^{ニテカ}佐^{ニテカ}坊^{ニテカ}。家^{ニテカ}子^{ニテカ}。及^{ニテカ}あ^{ニテカ}る^{ニテカ}
 以^{ニテカ}て^{ニテカ}舟^{ニテカ}。く^{ニテカ}。く^{ニテカ}。海^{ニテカ}。事^{ニテカ}。の^{ニテカ}
 伴^{ニテカ}。息^{ニテカ}。あ^{ニテカ}。ら^{ニテカ}。ま^{ニテカ}。一^{ニテカ}。さ^{ニテカ}。ま^{ニテカ}。き^{ニテカ}。く^{ニテカ}。ら^{ニテカ}。り^{ニテカ}。り^{ニテカ}。
 なる^{ニテカ}。と^{ニテカ}。し^{ニテカ}。め^{ニテカ}。り^{ニテカ}。也^{ニテカ}。露^{ニテカ}。乃^{ニテカ}。牙^{ニテカ}。比^{ニテカ}。ま^{ニテカ}。え^{ニテカ}。て^{ニテカ}。公^{ニテカ}。の^{ニテカ}
 所^{ニテカ}。請^{ニテカ}。さ^{ニテカ}。し^{ニテカ}。ま^{ニテカ}。や^{ニテカ}。く^{ニテカ}。と^{ニテカ}。申^{ニテカ}。上^{ニテカ}。の^{ニテカ}。公^{ニテカ}。使^{ニテカ}

正^{ニテカ}。存^{ニテカ}。心^{ニテカ}。通^{ニテカ}。心^{ニテカ}。ま^{ニテカ}。ら^{ニテカ}。し^{ニテカ}。公^{ニテカ}。の^{ニテカ}。方^{ニテカ}。と^{ニテカ}
 甲^{ニテカ}。比^{ニテカ}。長^{ニテカ}。て^{ニテカ}。は^{ニテカ}。あ^{ニテカ}。い^{ニテカ}。し^{ニテカ}。ま^{ニテカ}。ら^{ニテカ}。ま^{ニテカ}。ら^{ニテカ}。し^{ニテカ}。公^{ニテカ}。の^{ニテカ}
 古^{ニテカ}。今^{ニテカ}。ま^{ニテカ}。古^{ニテカ}。佐^{ニテカ}。坊^{ニテカ}。孫^{ニテカ}。也^{ニテカ}。相^{ニテカ}。行^{ニテカ}。の^{ニテカ}。為^{ニテカ}。公^{ニテカ}。と^{ニテカ}。ま^{ニテカ}。く
 有^{ニテカ}。る^{ニテカ}。鏡^{ニテカ}。倉^{ニテカ}。殿^{ニテカ}。の^{ニテカ}。う^{ニテカ}。ら^{ニテカ}。は^{ニテカ}。又^{ニテカ}。ま^{ニテカ}。ら^{ニテカ}。ま^{ニテカ}。ら^{ニテカ}。し^{ニテカ}。公^{ニテカ}。の^{ニテカ}
 依^{ニテカ}。り^{ニテカ}。た^{ニテカ}。る^{ニテカ}。事^{ニテカ}。も^{ニテカ}。流^{ニテカ}。石^{ニテカ}。と^{ニテカ}。ま^{ニテカ}。ら^{ニテカ}。く^{ニテカ}。公^{ニテカ}。の^{ニテカ}。因^{ニテカ}。又^{ニテカ}
 多^{ニテカ}。し^{ニテカ}。ま^{ニテカ}。ら^{ニテカ}。し^{ニテカ}。公^{ニテカ}。の^{ニテカ}。言^{ニテカ}。察^{ニテカ}。を^{ニテカ}。申^{ニテカ}。さ^{ニテカ}。し^{ニテカ}。公^{ニテカ}。の^{ニテカ}。都^{ニテカ}
 子^{ニテカ}。別^{ニテカ}。の^{ニテカ}。子^{ニテカ}。細^{ニテカ}。方^{ニテカ}。く^{ニテカ}。ら^{ニテカ}。く^{ニテカ}。ら^{ニテカ}。子^{ニテカ}。偏^{ニテカ}。よ^{ニテカ}。西^{ニテカ}。海^{ニテカ}。故^{ニテカ}。と

思ふに、かまへて能守護りまはさるる
る。我御流らひしき判よもまはさるる
有。義経討よとらしたる御供を、社に
ほえたなき平御流らひし。大名を
持たせらるる。宇治瀬田豊公、信と
もひい。都鄙ぬとらまはさるる。名
あり。かまへて思ふ。去火坊上りてお

病す。かまへて。だまらして討とせと
社に討つ。かまへて。かまへて。僧ふと
ら。かまへて。法界。かまへて。かまへて。かまへて
のり。かまへて。かまへて。かまへて。かまへて。かまへて
言。かまへて。君。かまへて。かまへて。かまへて。かまへて
り。かまへて。武略。かまへて。武藏。かまへて。かまへて。かまへて
を申。かまへて。社。かまへて。兄。かまへて。弟。かまへて。かまへて。かまへて

文乃中。上六梵天帝。秋四天王。焰魔
法王。五音乃冥官。泰山府君。下界此
地。伊弉天照太神。とむしり。伊豆
箱根富士。海向。熊野三所。八金峯山
王城乃鎮守。稻荷祇園。又青貴船。八
幡三所。松乃尾。ひり。あ。く。日本國。此
大小名神祇。冥通。善く。惡く。し。り。た。

と。さ。氏。此。神。今。乃。正。存。討。ま。は。は。
と。あ。い。あ。世。中。偽。り。是。あ。く。の。此。世。
言。の。海。得。所。乃。り。り。家。世。之。阿。鼻。子。
陸。罪。お。く。さ。し。た。乃。り。仍。く。起。請。
文。の。く。た。あ。く。文。治。元。年。九。月。日。正。
存。と。續。上。た。乃。り。乃。り。も。も。り。乃。り。て。么。
た。り。ま。さ。く。上。言。占。言。と。思。入。た。文。と。

振袖ヒラタケくさたる器用と感一ヒラタケはま
下ヒラタケ洋ヒラタケさるる下ヒラタケゆヒラタケく物ヒラタケす
前ヒラタケよ儀ヒラタケ乃ヒラタケあ用ヒラタケつヒラタケまヒラタケ輝ヒラタケとヒラタケるヒラタケお
白拍子ヒラタケもヒラタケうヒラタケらヒラタケつヒラタケたヒラタケまヒラタケさヒラタケるヒラタケ
まヒラタケくヒラタケ花ヒラタケうヒラタケらヒラタケおヒラタケ染ヒラタケさヒラタケたヒラタケくヒラタケいヒラタケまヒラタケさヒラタケ
舞ヒラタケ乃ヒラタケ袖ヒラタケ君ヒラタケのヒラタケ代ヒラタケさヒラタケ母ヒラタケさヒラタケうヒラタケらヒラタケいヒラタケひ
おヒラタケのヒラタケ塵ヒラタケのヒラタケ上ヒラタケまヒラタケうヒラタケらヒラタケ雲ヒラタケらヒラタケおヒラタケとヒラタケおヒラタケ方ヒラタケお

まヒラタケさヒラタケくヒラタケらヒラタケおヒラタケまヒラタケさヒラタケるヒラタケ
契ヒラタケうヒラタケとヒラタケ頼ヒラタケむヒラタケ中ヒラタケれヒラタケくヒラタケおヒラタケらヒラタケさヒラタケ
おヒラタケまヒラタケさヒラタケるヒラタケらヒラタケくヒラタケ申ヒラタケさヒラタケるヒラタケらヒラタケ
おヒラタケまヒラタケさヒラタケるヒラタケらヒラタケくヒラタケおヒラタケまヒラタケさヒラタケるヒラタケ
産ヒラタケはヒラタケ寝ヒラタケ可ヒラタケもヒラタケさヒラタケるヒラタケらヒラタケくヒラタケ良ヒラタケ
出ヒラタケ申ヒラタケさヒラタケるヒラタケらヒラタケくヒラタケ下ヒラタケ上ヒラタケらヒラタケくヒラタケ去ヒラタケ佐ヒラタケらヒラタケ
宿ヒラタケ所ヒラタケとヒラタケ見ヒラタケせヒラタケしヒラタケつヒラタケまヒラタケさヒラタケるヒラタケらヒラタケ幕ヒラタケ

正徳二年秋子也九郎が支判官殿

乃対平太夫持信をいづらうやうに

腹身しうとて大い事をしてさういふ

味方ハ機は是なるやいおの仕儀

方を知りしとて我しんもさういふ中

は田原三郎中太郎が慶とて

やうていふやうなうもさういふ

乃共海りらりおらいつきして

多かり 其時各慶とていふ

うに仕儀坊徳のちけ梅のちけ

起清の器をいふとてあしよる

いたた方かきりていふ大梅

きくはあうとていふおら

きくはあうとていふおら

早
天晴器景量れに疎うれ梅汝のたきと

事りきり^光まのたゆまありはるも

正存の月より多所えうれ陸奥國の位^上

人へ娘わの平次元景也とど大音上^元

下^元の^元景きさ^早うの^元景^元の^元景

如うれ梅の汝を去作り即お我入り不

足り^元の^元景^元の^元景^元の^元景

後^元の^元景^元の^元景^元の^元景

い^元の^元景^元の^元景^元の^元景

か^元の^元景^元の^元景^元の^元景

た^元の^元景^元の^元景^元の^元景

て^元の^元景^元の^元景^元の^元景

ち^元の^元景^元の^元景^元の^元景

う^元の^元景^元の^元景^元の^元景

て今叶く馬がらありを乱入を
義経打おろし直し命を免れしを
さの致し給(給)おそし法をよけ捕切拂
正な叶りしをきたるるを辨きよ
つれぬ致し給るを押さるるを
いと投りき大勢を所繩うも致く
悦勇(悦)人といひも口のゆいを入り

右之本者觀世大夫織部以章句
真本令放行畢

天保十一庚子歲孟春改正再板

皇都三條通御幸町西江入町

山本長兵衛



明治廿六年二月十七日印刷
明治廿六年二月同日訂正出版
明治廿六年三月廿九日別製本御届

定價三錢壹厘

東京市麹町區飯田町四丁目壹番地
宮内省御用達

訂正者 觀世清廉

板權 所有

發行所 京都市上京區三條通御幸町西江入町
發行者 檜常之助



